

多層多軸連関で捉えて対策する 心血管・腎・代謝症候群

代謝異常を基盤とする生活習慣病、慢性腎臓病、そして心血管病は、疾患としての連続性を有し、その根底に共通する病態、さらには治療・管理における多臓器連関の重要性を反映し、心血管・腎・代謝症候群（Cardiovascular-Kidney-Metabolic Syndrome）という包括的な概念のもとで捉えられるようになりつつある。この概念は近年、急速に広まり、医学のみならず広範な領域において注目を集めている。心血管・腎・代謝症候群（Cardiovascular-Kidney-Metabolic Syndrome）を論じるにあたっては、単に個々の疾患を検討するに留まらず、多臓器が相互に関連し合う複雑な機序、若年期から老年期に至る長いライフステージにわたる管理、そして医療・福祉・公衆衛生の分野を超えて関わる多様な専門職種役割を踏まえ、多層的かつ多軸的な視点から議論を展開することが不可欠である。本フォーラムにおいては、心血管・腎・代謝症候群（Cardiovascular-Kidney-Metabolic Syndrome）の現状と未来を見据え、医学の専門家のみならず、産業界、行政、さらには社会学の分野において第一線で活躍する識者を招聘し、学際的かつ実践的な議論を深めていく。

令和7年9月13日(土) 13:00~17:00
オンライン開催

事前申し込みは下記URLまたはQRコードから
<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0323.html>



申込締切：9月9日(火) 事前参加登録をお願いいたします

プログラム

●コーディネーター	野出 孝一	(日本学術会議第二部会員／佐賀大学医学部長・内科主任教授)
●座長・司会	神吉 佐智子	(日本学術会議連携会員／大阪医科薬科大学医学部外科学講座胸部外科講師)
	金子 英弘	(日本学術会議連携会員(特任)、東京大学医学部先進循環器病学講座特任准教授)
開会挨拶	13:00 ~ 13:05	野出 孝一 (日本学術会議第二部会員、佐賀大学医学部長・内科主任教授)
講演	13:05 ~ 13:50	本邦の健康・研究施策として心血管・腎・代謝症候群を考える 永井 良三 (自治医科大学学長)
	13:50 ~ 14:20	医療産業領域から捉える心血管・腎・代謝症候群 福神 雄介 (アルフレッサ株式会社代表取締役社長)
	14:20 ~ 14:50	本邦における心血管・腎・代謝症候群の展望 金子 英弘 (日本学術会議連携会員(特任)、東京大学医学部先進循環器病学講座特任講師)
	14:50 ~ 15:20	本邦の循環器病診療の現状と心血管・腎・代謝症候群 水野 篤 (日本学術会議連携会員(特任)、聖路加国際病院医療の質管理室室長)
	15:20 ~ 15:50	本邦の糖尿病代謝疾患診療の現状と心血管・腎・代謝症候群 稲垣 暢也 (日本学術会議連携会員、公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院理事長／京都大学名誉教授)
	15:50 ~ 16:20	本邦の腎臓病診療の現状と心血管・腎・代謝症候群 柏原 直樹 (日本学術会議連携会員、川崎医科大学特任教授)
総合討論	16:25 ~ 16:55	パネリスト 登壇者全員
閉会挨拶	16:55 ~ 17:00	山本 晴子 (日本学術会議第二部会員、国立研究開発法人国立循環器病研究センター理事)
閉会	17:00	